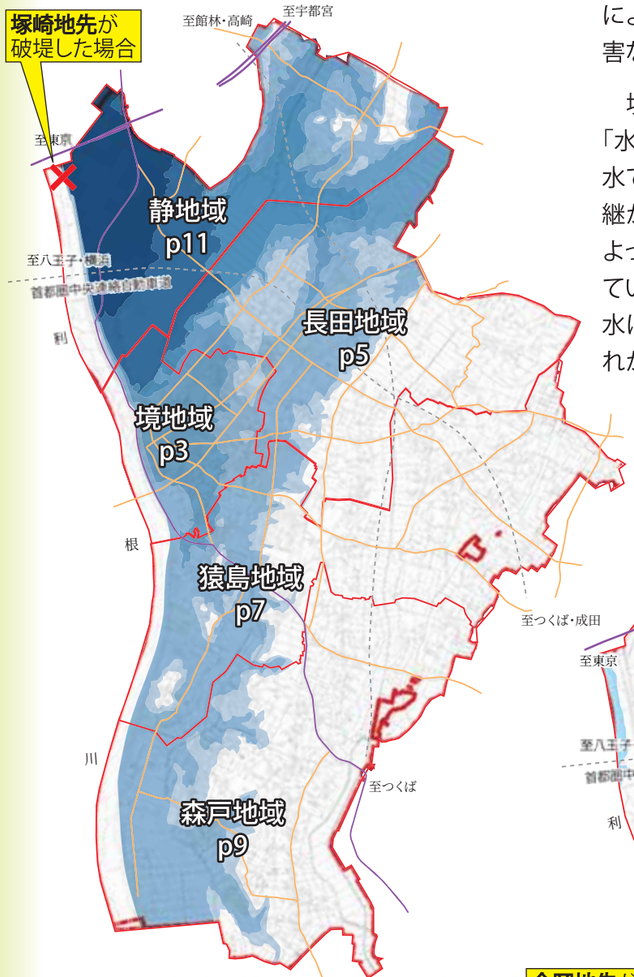
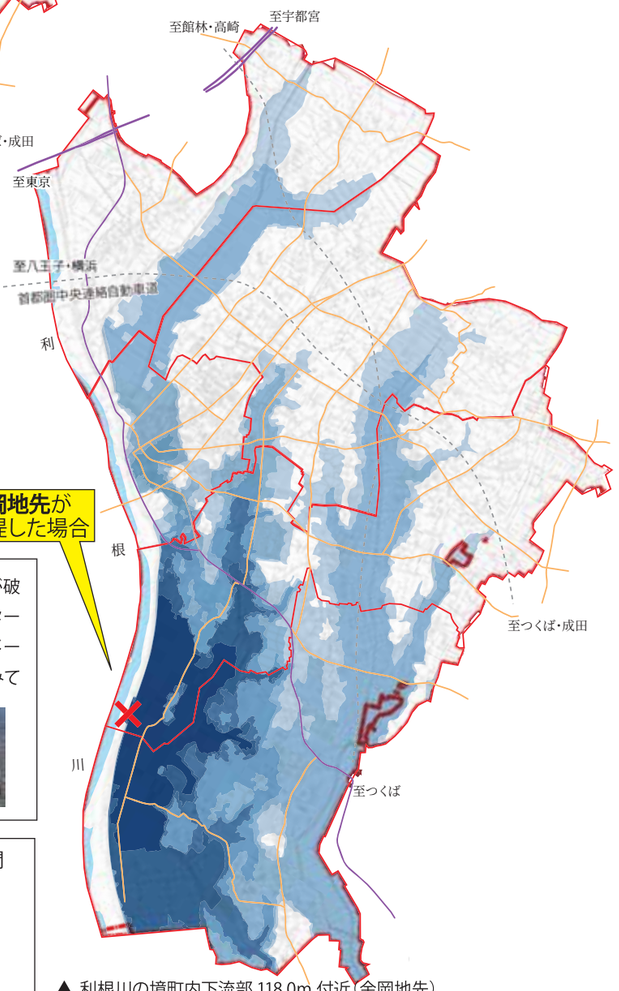
境町の洪水リスク（危険性）



▲ 利根川の境町内上流部 124.5km 付近（塚崎地先）で破堤した場合に浸水するエリア（時間別表示）



▲ 利根川の境町内下流部 118.0m 付近（金岡地先）で破堤した場合に浸水するエリア（時間別表示）

図は、仮に利根川がはん濫した場合（境町上流部と下流部で堤防が破堤した場合）に想定される被害をシミュレーションした結果です。インターネット上で、破堤後の経過時間ごとに、浸水範囲や浸水深等をアニメーションで見ることができますので、是非インターネットでアクセスしてみてください。

古河・境・坂東地区動く洪水ハザードマップ
http://dsel.ce.gunma-u.ac.jp/simulator/kogasakaibando/

【凡例】

- 高規格道路（事業中）
- 国道
- 幹線道路
- 地域境界

破堤後経過時間：30分 / 1時間 / 2時間 / 6時間 / 12時間 / 16時間

近年、局地的な大雨の頻発によって、急な河川増水による水難事故や中小河川のはん濫等による住家被害など、全国各地で多くの災害が報じられています。

境町は、起伏の殆どない平坦地が広がり、絶えず「水の脅威」にさらされています。明治 43 年 8 月の大水では、本町でも大きな被害をもたらし、今なお語り継がれています。現在では、利根川の護岸工事などによって、多少の大雨でも心配することなく生活ができていますが、もし決壊した場合には、町の半分以上が水に浸かることが想定され、甚大な被害を及ぼす恐れがあります。

とにかく 早めの避難 が大事です！

左図のシミュレーションが示す通り、低地の多い境町では、またたく間に浸水域が広がっていきます。決壊してからの避難では間に合わないこともあり、早め早めに対応することが大切です。結果的に浸水などがなく、避難が“空振り”に終わったとしても、命を守るためには「早めの避難」を心がけることが大事です。

早いタイミングでの避難が重要です。日頃から準備をしておきましょう！

利根川が決壊すれば被害は甚大！

12,000 人超の人が被災する想定結果も公表されています。

塚崎地先で破提した場合、浸水区域内の住民が誰も避難しなかったと仮定すると、12,000 人を超える人が浸水する状況におかれ、3,000 人を超える人が命の危険にさらされる状況になると想定されています。

分　類	状　態	破提場所別被災状況	
		塚崎地先	金岡地先
浸水域内滞在者	避難せずに自宅に留まっている人で、自身は浸水しないが、自宅が浸水域内にある人	8,845 人	6,648 人
浸水域内危険者	未避難または避難途上で、緊急の救助が必要ではないが、自身が浸水する状態の人	262 人	241 人
要緊急救助者	未避難または避難途上で、歩行が困難な浸水状況に置かれ、緊急の救助が必要な人	3,059人	677人

注）群馬大学による住民アンケートからの集計による（平成 23 年実施）

災害対策は気象情報・河川情報の収集から

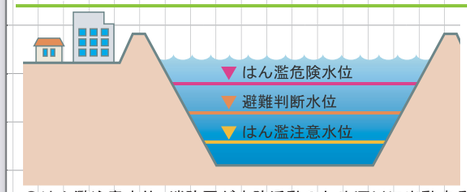
気象情報は、最も身近な防災に関する情報です。注意報や警報が発表されたら、テレビやラジオから情報を収集するとともに、インターネットを活用した情報収集に心がけましょう。

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
雨の音で話がよく聞き取れない。地面に水たまりが出来る程度の雨。	土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまう。小さな河川ならはん濫もある。	バケツをひっくり返したような激しい雨。危険地帯では避難の準備が必要。	滝のように降り、前が見えない程の雨。中小河川がはん濫する可能性がある。	恐怖を感じる程の雨。大規模災害の可能性があり、厳重な注意が必要。
1 時間に 10 ～ 20mm	1 時間に 20 ～ 30mm	1 時間に 30 ～ 50mm	1 時間に 50 ～ 80mm	1 時間に 80mm ～

■注意報・警報などの発表基準（水戸地方気象台　県西地域）

大雨	大雨による被害または重大な被害が予想される場合	注意報	警報	記録的短時間大雨情報	特別警報
洪水	洪水による被害または重大な被害が予想される場合	注意報	警報		
		40mm/h 以上	60mm/h 以上	100mm/h 以上	数十年に一度の降雨量となるおそれが大きい時
				数年に一度の猛烈な雨	

■河川水位情報



（Y. P. +m）

	観測所	住所	はん濫注意水位	避難判断水位	はん濫危険水位
利根川	八斗島	伊勢崎市八斗島町	1.90m	4.50m	4.90m
利根川	栗橋	栗橋町栗橋	5.00m	8.00m	8.50m
利根川	芽吹橋	野田市芽吹	5.00m	6.70m	7.10m

●はん濫注意水位　消防団が水防活動のため河川に出動する目安となる水位です。
●避難判断水位　水害の発生に備えて、避難準備情報等が発令される目安となる水位です。
●はん濫危険水位　洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫の恐れがある水位です。